

2014年8月20日
第114号
(Web版第8号)

日本犯罪社会学会ニュース

発行

日本犯罪社会学会
JAPANESE ASSOCIATION OF
SOCIOLOGICAL CRIMINOLOGY

- I 第**30**回日本社会病理学会大会のお知らせ
- II アジア犯罪学会第**6**回大会終了のご報告
- III 第**14**回(2015年度)「日本犯罪社会学会奨励賞」自薦・他薦の募集
- IV 宮澤節生副会長の国際賞受賞について
- V 谷岡一郎理事の国際犯罪学会理事就任について
- VI 各部・委員会報告

※第107号からニューズレターはWebのみで発行しております。

※会員動向につきましては、年間2回(大会プログラム発送時、
大会報告要旨集発送時)会員のみに詳細版を同封いたします。

I 第30回日本社会病理学会大会のお知らせ

10月4日(土)・5日(日)の両日、下関市立大学にて、第30回大会を開催します。

4日は、午後から10本の自由報告、そして第30回大会関連特別企画「学会—30年の回顧と展望」(横山実・進藤雄三・矢島正見・等)を開催します。

5日は、午前にテーマセッション「秘密と監視」(コーディネーター 井上真理子、報告者 阿部潔・佐々木光明・朝田佳尚)、午後はシンポジウム「若者層の生活満足度を問う—状況規定のパラドクス」(コーディネーター 土井隆義、報告者 浅野智彦・清水新二・内田由紀子)を開催します。

詳しくは、日本社会病理学会のホームページをご覧ください。

日本社会病理学会 HP (<http://socproblem.sakura.ne.jp/>)

(日本社会病理学会 渉外・広報担当理事 矢島正見)

II アジア犯罪学会第6回大会終了のご報告

アジア犯罪学会第6回大会(於:大阪商業大学)が、6月27日から29日までの日程で開催されました。実参加者数は国内186名、海外207名の合計393名となりました。

部会数は基調報告2、全体会4、ワークショップ3、申込部会27、個人報告部会28(報告120本)、市民公開講座1でした。ご参加・ご協力いただきました会員の皆様に、あらためて御礼を申し上げます。

詳しくは<http://www.acs2014.com/>の終了報告と写真集をご覧ください。

III 第14回(2015年度)「日本犯罪社会学会奨励賞」自薦・他薦の募集

日本犯罪社会学会では、犯罪、非行、刑事司法、及び、それらに関連する諸事象に関する社会科学研究の活性化と発展のため、そして、知的資産の不断の蓄積および学術内容の更なる質的向上のため(特に若手研究者への刺激と登龍門として)、「日本犯罪社会学会奨励賞」を創設し、受賞研究業績を選考し表彰しております。

2015年度は、論文が選考対象となる年です。2013年4月から2015年3月までに公表された、原則として満35歳以下の会員(受賞時点で会員であること)による論文の自薦・他薦を募集いたします。ノミネートの期限は2015年3月31日(消印有効)です。詳細は学会ホームページの「奨励賞規約」をご覧ください。

自薦・他薦いただく際には、以下の情報を記した書面とともに、選考対象論文を5部、学会事務局宛ご送付いただくようお願いいたします。封筒に「奨励賞応募論文在中」とご明記ください。なお、応募された論文5部は返却いたしません。

- 1) 選考対象の著者名(フリガナ)、連絡先住所、電話番号、メールアドレス
- 2) 選考対象者の生年月日
- 3) 選考対象論文名、掲載誌名、出版年月日
- 4) 他薦の際には、推薦者の連絡先住所、電話番号、メールアドレス

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

IV 宮澤節生副会長の国際賞受賞について

宮澤節生副会長がアメリカ法社会学会（Law & Society Association）の国際賞（International Prize）を受賞しました。国際賞は、アメリカ合衆国以外に居住している研究者に対して、法社会学分野における知識の発展に重要な貢献をした者に授与されるものです。日本人では、2003年に受賞した故千葉正士教授に次いで二人目です。

具体的な受賞理由として、法社会学分野において多岐にわたるテーマに取り組んできたこと、数多くの文献を上梓および編集してきたこと、日本の司法制度改革に多大な影響を与えたことが挙げられています。

詳しくは、アメリカ法社会学会のホームページをご覧ください。

アメリカ法社会学会 HP (http://www.lawandsociety.org/prizes/2014_award_winners.html)

V 谷岡一郎理事の国際犯罪学会理事就任について

国際犯罪学会（International Society for Criminology）の理事選挙が、自薦による候補24名に対して、会費納入済みの会員による電子メール投票で行われ、16名が選出されて、日本からは本会の谷岡一郎理事が当選されました。日本からは長く故宮澤浩一教授が理事を務めておられましたが、同教授が1990年代中頃に引退されて以来、日本からは理事が出ていなかったものです。新理事の任期は3年で、8月11日～13日にメキシコのモントレイで行われる第17回世界大会の期間中に行われる理事会で新会長が選出される模様です。なお、国際犯罪学会については、下記の同学会サイトをご覧ください。

国際犯罪学会HP (<http://www.isc-sic.org/web/>)

VI 各部・委員会報告

1 研究委員会

第41回大会のプログラムを9月上旬に皆様のお手元にお届けする予定です。大会への皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2 編集委員会

『犯罪社会学研究』40号の自由論文・研究ノートの投稿締切は、2015年5月31日です。最新号の巻末の投稿規程に従って、下記住所までご送付ください。なお、投稿は、常に受け付けております。会員のみなさまのご投稿をこころよりお待ちしております。

〈自由論文・研究ノートの投稿先〉

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10 八ッ橋ビル7階 現代人文社気付
日本犯罪社会学会編集委員会

学会誌編集業務に関するご意見・ご質問については、下記までお寄せください。

〈編集委員会事務局〉

hanshahenshu14@gmail.com

3 渉外広報委員会

研究会助成について、2014年度分を、下記の研究会に対し助成いたしました。

ライフコース犯罪学に関する検討会

報告者：ケンブリッジ大学犯罪学研究所 デイビッド・ファリントン教授

日 時：2014年6月29日（日） 14：00～15：45

場 所：大阪商業大学

テーマ：犯罪学の縦断的・経験的研究

（アジア犯罪学会第6回年次大会の部会「英国、米国及び日本における犯罪学の発展のための長期的研究：現在までの取組と展望」における報告）

申請者：新海浩之会員

渉外広報委員会では、犯罪社会学に関する研究会に対し、助成を行っております。年度ごとに2件、1件あたりの助成金は40,000円です。本助成を申請する際には、事前に申請責任者の名前と住所ならびに所属、研究会の名称、助成を申請する研究会の開催日時・開催場所・内容（テーマ、タイトル等）を、渉外広報委員会までご連絡ください。連絡先は下記のとおりです。受付後、速やかに審査手続きを行い、採否のご連絡をいたします。なお、研究会開催後の申請は受け付けておりません。採用が決定した際には、事務局より助成金の振り込みを行います。後日、申請責任者には、領収書の提出等の事務手続きを担当していただきます。

連絡先：野田陽子（yokonoda@soc.shukutoku.ac.jp）

日本犯罪社会学会事務局（hansha@daishodai.ac.jp）

4 企画調整委員会

『犯罪社会学研究』第39号広告掲載について、本年6月の申込み締切日までに、学文社、現代人文社、有斐閣、法律文化社の4社より広告掲載の依頼がありました。大会プログラムへの広告掲載を含め、広告データもすべてスケジュールどおりに適切に処理されました。

5 本部事務局会計部

会費納入のお願い

まだ2014年度の会費をお支払い頂いていない方は、郵便振込にて会費を納入されるようお願い申し上げます。金額、口座番号および口座名は下記の通りです。

また、領収書をご希望の方は払込票の通信欄にその旨を記入して下さい。

通常会員 7,000円

但し、院生会員 6,000円（大学院に在籍し、かつ常勤の職を有しない会員）

国外会員 7,000円（国外に在住し、かつ国内に連絡先を有しない会員）

郵便振替口座 00950-2-148284

加入者名 日本犯罪社会学会

会費を3年未納となりますと年度末で退会扱いとなります。滞納されていて会員の資格についてご確認なさりたい方、また退会をお考えの方は、その旨を事務局まで御一報下さい。

なお、銀行振込や小切手での会費の支払いは受け付けておりませんのでご注意ください。

6 本部事務局庶務部

(1) 献本(2014年5月8日～2014年7月29日現在)

- ・太田達也著『刑の一部執行猶予 犯罪者の改善更生と再犯防止』慶應義塾大学出版会
- ・大多和直樹著『高校生文化の社会学—生徒と学校の関係はどう変容したか』有信堂高文社
- ・警察政策研究センター「警察政策研究」第17号

・・・・・・・・・・以上3冊

(2) 会員動向(2014年7月29日現在)

会員数:名誉会員10名、通常会員461名、特別会員2団体

※個人情報保護のため、ニューズレターの記載は人数のみとします。会員各位には、年間2回(大会プログラム発送時、大会報告要旨集発送時)に会員動向の詳細版を同封いたします。

お願い

転勤等で所属や連絡先を変更された場合は、学会事務局まで速やかにご連絡下さい。

事務局では、会員の皆様からのご意見、ご要望、インフォメーションなど随時承っております。

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

TEL: 06-6618-4324 (月～金 10:00-16:00)

FAX: 06-6781-8883

E-mail: hansha@daishodai.ac.jp

*お問い合わせ・ご連絡は、なるべくメールでお願いいたします。
